

# 次世代へつなぐ足腰の強い農業技術の基盤づくり

～ 成果をつないでスキルアップ～

活動対象：中富良野町旭中北三地区（6戸）

経営規模の拡大によりほ場が町内に点在している。H30年までに、国営基盤整備事業が終了しているが、基盤整備後の土壌化学性、物理性に変化が見られる。土壌化学性、物理性を調査、マッピングし、ほ場の特性を「見える化」するため、ほ場管理台帳の作成をすすめるとともに、地力の維持向上のための土づくりを支援した。また、世代交代が進みつつある集団の若手経営主や後継者へ、経営管理の基礎知識習得の支援を行った。

経営主の平均年齢：50才（30代2人、40代1人、50代1人、60代2人）  
 労働力：3.3人  
 平均耕作面積：16.9ha（水稲38.5ha、畑作16.9ha、野菜45.7ha）  
 作付品目：たまねぎ39.7ha、水稲38.5ha、麦類16.1ha、スイートコーン1.5ha、にんじん1.2ha  
 アスパラガ 10.6ha、ミトヲト0.3ha、いちご0.2ha、軟白長ねぎ0.1ha

## 1 課題の背景

主要作物の安定的な収量・品質の確保



・ほ場台帳作成によるほ場の特性把握  
 ・有機物施用等による地力の維持向上

経営の現状把握と経営管理能力の向上



・若手経営主・後継者の経営管理能力の向上と育成

## 2 活動の経過

### (1) 主要作物の安定的な収量・品質の確保

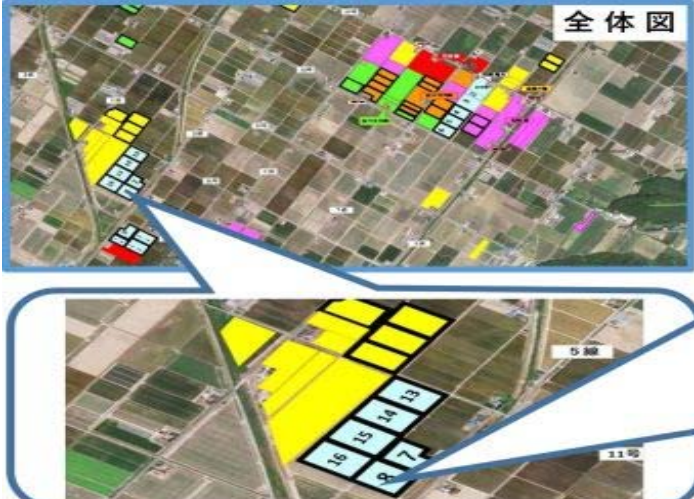
活動時期	普及方法	延人数	回数	主な活動内容
5～8月	個別対応	26	15	土壌化学性の分析、土壌物理性の測定支援
5～1月	個別対応	32	13	改善策の提案。生育・収量調査支援および調査結果の報告

### (2) 経営管理能力の向上による経営力の強化


活動時期	普及方法	延人数	回数	主な活動内容
10～3月	講習会 個別対応	14	7	農業簿記の基礎、農業簿記ソフトによる貸借対照表の作成、経営データの見方

## 3 成果の具体的内容

### (1) マッピングによるほ場管理台帳の作成



全体図



土壌診断結果

栽培履歴

作物	R2	R3	R4	R5
前作	水稲	水稲		
栽植密度(株/m <sup>2</sup> )	23.0	21.6		
施肥量	8.2	6.0		
(kg/10a)	男ノ麩	男ノ麩		
	方	方		
	6.7	5.0		
は種日	4月16日	4月15日		
移植日	5月15日	5月15日		
幼穂形成期	6月27日	6月28日		
出穂期	7月26日	7月25日		
成熟期	9月11日			
収穫日	9月14日			
収量(kg/10a)	560			
品質	I			

## (2) 地力の維持向上

耕盤層を確認

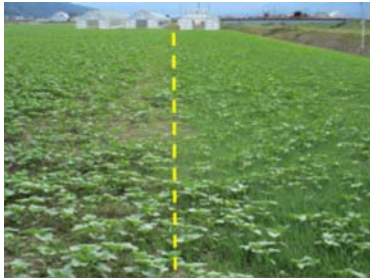
【水田】

心土破碎  
してみま  
せんか？



今まで小出来な水田だったけれど、（耕盤層破壊のために）心土破碎の施工間隔を狭くしてみたら、うちの水田の中で初期生育が一番の生育量になった！

<有機物の施用>



- ・堆肥の増量散布及び新規緑肥の作付を提案した結果、4戸全てで取り組まれた
- ・R3年は、緑肥作付の全面積で新規緑肥の栽培に取り組まれた

ヘイオーツのほうが出芽が早く、雑草の繁茂が抑えられた！

写真1 ヘイオーツとひまわりの混播(写真右側)  
(写真左側はヘアリーベッチとひまわり)

<パラソイラの施工>



パラソイラを施工した箇所のほうが、水の引きが良い気がした！



表1 たまねぎほ場におけるパラソイラ施工による生育調査結果及び収量調査結果

区分	草丈 (cm)	生葉数 (枚)	葉鞘径 (mm)	球径 (cm)	総収量 (kg/10a)	規格内収量 (kg/10a)
慣行区	78.3	10.1	22.0	5.0	7,429	7,429
パラ区	74.6	9.6	20.0	5.3	7,804	7,713
比(%)	95	95	91	105	105	104

写真2 パラソイラによる心土破碎

## (3) 経営管理能力の向上による経営力の強化



貸借対照表を作成していない若手農業者2戸に対し、貸借対照表の作成を支援した。農業簿記ソフト「ソリマチ」を利用し、メーカーや現地ユーザー（農業者）の協力を得ながら実施した。また、戸別巡回で各戸の経営データを用いて、財務諸表の見方について説明した。その結果、若手農業者2戸において、貸借対照表の作成に至った。また、財務諸表の見方を学び、自家経営の現状についての理解が促進された。

## 4 結果の考察と今後の活動

推進項目	結果の考察	今後の活動
マッピングによるほ場管理台帳の作成	ほ場の状況が一目でわかる利便性が理解された。	得られたデータより改善策を提案。マップは戸別に配布。内容を精査しバージョンアップを図る。
地力の維持向上	水田では心土破碎による排水対策、たまねぎでは堆肥・緑肥・心土破碎が生育の向上につながることが理解された。	機械メーカー等と連携し心土破碎の改善手法の検討を行う。
経営管理能力の向上による経営力の強化	「経営管理能力の向上が必要」との動機付けと財務諸表作成時の迅速な助言等が実践につながった。	より細かい経営データの記録や分析の実施を支援する。